



2025年9月1日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
売れるAIマーケティング社株式会社
代表取締役社長 CEO 福本朋哉
(TEL 092-834-5520)

【新サービスリリース】

売れるネット広告社グループ(9235)、

新サービス『売れるAIワントゥワンマーケティング』をリリース！

～我々が、AI時代の“購買ルール”そのものになる～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れる AI マーケティング社株式会社（代表取締役社長：福本朋哉、以下 売れる AI マーケティング社）は、このたび新サービス『売れる AI・1to1 マーケティング』を正式にリリースいたしました。

【AI が顧客一人ひとりの“意思決定”を代行する時代へ】

2025 年、ChatGPT が「ショッピング機能」を搭載し、さらに Google が「AI Mode エージェント」を実装するなど、検索から購入までを AI が一気通貫で担う「買う AI」時代が幕を開けました。すでに当社の予測では、2030 年には購買の 7.8%が AI を介し、2035 年にはその比率が 49%に到達すると見込まれています。

この巨大潮流の中で、従来の SEO やリストティング広告ではもはや不十分です。「AI に選ばれるブランド」になることが、企業の生死を分ける時代に突入しました。

【『売れる AI・1to1 マーケティング』が描く未来】

本サービスは、BtoB 向けのサービスであり、AI による 1to1 パーソナライズをフル活用し、EC や D2C のみならず、旅行・店舗など幅広い業態に対応します。AI は顧客の過去の購買履歴・嗜好・行動データを統合し、リアルタイムで「次に買うべき商品」「最適な旅行プラン」「個人にフィットする来店オファー」を提案します。

つまり、従来のマーケティングが「多くの人に刺さる施策」だったのに対し、本サービスは「個人に最適化された施策」を、AI エージェントを通じて自動的に届ける——まさに“究極のリターゲティング・チャネル”です。

【勝ち筋の源泉は、2,600 回以上の A/B テストに基づく『最強の売れるノウハウ』】

売れるネット広告社グループは、長年にわたり 2,600 回以上の A/B テストを積み重ね、「EC で何が売れるのか」を誰よりも深く理解してきました。その知見は、『売れる D2C つくーる』や自社 D2C 事業『Koga0+』の成功実績で実証済みです。

今回の『売れる AI・1to1 マーケティング』では、これらの実証済みノウハウを AI に組み込み、EC における最適化の知見をあらゆる産業に転用可能にしました。結果、旅行業界では「AI が自動で顧客に合う旅程を設計」、店舗業界では「顧客一人ひとりにカスタマイズされたクーポンを即时発行」といった、“異次元の購買体験”を創出します。

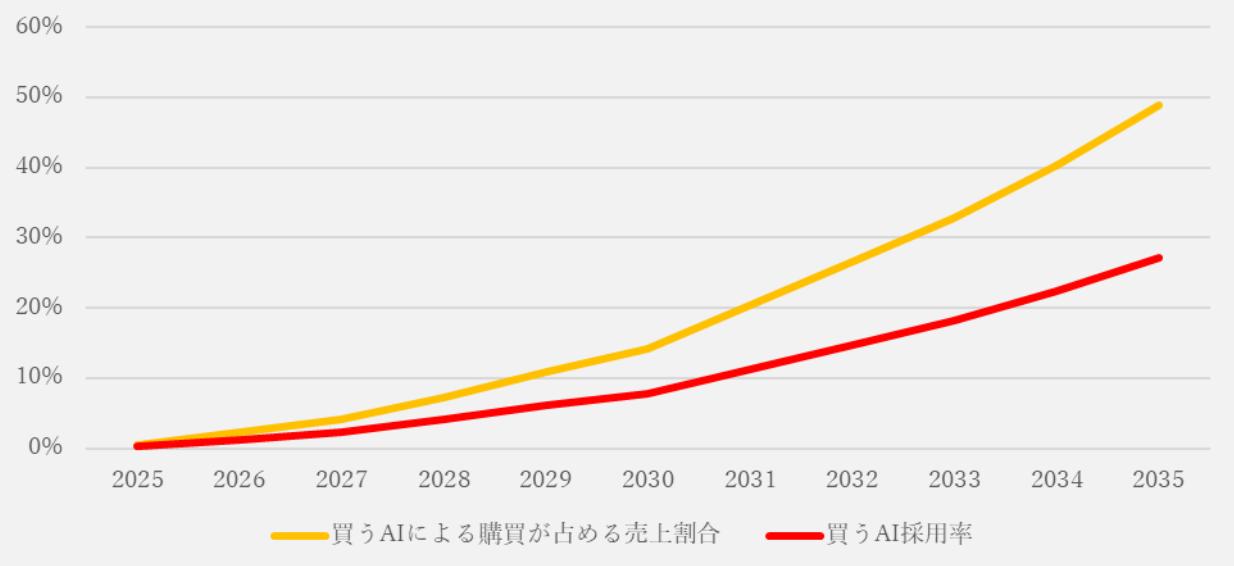
【市場制圧シナリオ：AE0 と 1to1 の融合】

すでに当社が先行展開する「売れる AI 最適化 (AE0 : AI Engine Optimization)」は、AI に選ばれるための SEO 的存在として市場の必然となりつつあります。今回の『売れる AI・1to1 マーケティング』は、この AE0 の仕組みと連動し、AI が顧客に推薦した瞬間から「最適なパーソナル提案」までを一気通貫で実現する、世界初のフルスタック・ソリューションです。

AI が消費者の代理人となり、ブランドの AI が応答する「買う AI×売る AI」の時代。その戦場において我々は、“両陣営を制御する唯一の覇者”となります。

「買うAI」普及予測

(売れるネット広告社調べ)



【今後の展望】

短期的には、既存の EC・D2C クライアントへの導入を加速し、LTV（顧客生涯価値）最大化の実績を積み上げます。

中期的には、不動産・金融といった異業種領域へ展開し、「売れる AI ワントゥワンマーケティング」を標準装備とするエコシステムを確立します。

そして長期的には、AI エージェント同士が取引を交わす未来において、我々のプロトコルを事実上の“世界基準”とすることを目指します。

なお、本件は 2026 年 7 月期の売れるネット広告社グループの連結業績にプラス寄与見込みです。

株主・投資家の皆様、AI 時代の歴史的転換点を迎えた今、この号砲をその目に焼き付けてください。我々と共に、まだ見ぬ“爆益”的な未来を掴み取りましょう。

以上